

「中部産CO₂クレジット」を創設 ～地域で削減された二酸化炭素をブランド化～

中部経済産業局では、企業等が省エネ設備を導入するなどして国に認定された二酸化炭素の排出権（クレジット^(*)）の活用促進に向けて、「中部産CO₂クレジット」を創設しました。

ロゴマークの設定やウェブ上でのプラットフォームを構築することで、中部地域のCO₂クレジットを地域ブランドとして「見える化」し、クレジットの「地産地消」を進めることが目的です。

(*) 「国内クレジット制度」及び「J-クレジット制度」により認定されたクレジットが対象です。

(1) 「中部産CO₂クレジット」ロゴマークの設定

中部地域におけるクレジット創出者と、中部地域で創出されたクレジットを活用して自社の二酸化炭素を無効化（オフセット）した事業者が使用できるロゴマークを設定しました。（右図）

このロゴマークを、提供する製品・サービス等に表示することで、上記の事業者等が環境に配慮した取組をしていることを示すことができます。



(2) 「中部産CO₂クレジット」プラットフォームの開設

中部産CO₂クレジットの内訳や活用事例、ロゴマークの紹介のため、中部経済産業局ホームページ内に「中部産CO₂クレジットプラットフォーム」を開設しました。

中部産CO₂クレジットに関する情報は、こちらのサイトで随時情報発信します。

【中部産CO₂クレジットプラットフォーム】

<http://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform.html>

(3) 「中部産CO₂クレジット」の活用先

企業の生産活動に伴って発生する二酸化炭素をオフセットするほか、以下の会議・イベントにおいて、その運営にあたって排出される二酸化炭素のオフセットに活用することが決定しています。

- ・ 「持続可能な開発（ESD）に関するユネスコ世界会議」
- ・ 「かすがいビジネスフォーラム 2014」
- ・ 「みえ環境フェア 2014」 など

（お問合せ先）

中部経済産業局 エネルギー対策課長 伊藤

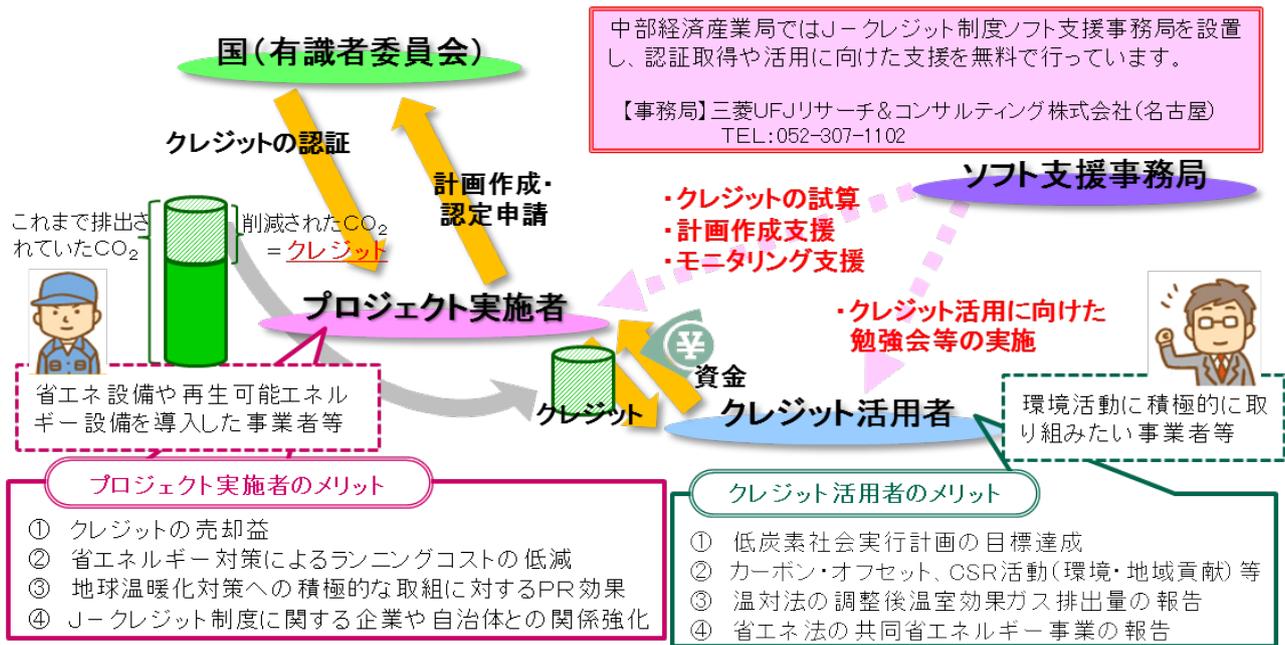
担当：吉岡、藤井

電話：052-951-2775（直通）

○ J-クレジット制度のご紹介

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂の排出削減量、または適切な森林管理によるCO₂の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度です。

(2012年度まで、経済産業省等により推進された「国内クレジット制度」と、環境省により推進された「J-VER制度」が統合され、2013年度から「J-クレジット制度」として運営されています。)



○ 「中部産CO₂クレジット」創設の背景

- ・ 特定の企業等からではなく、複数または企業の名前がわからない形でクレジットを購入したい。
※一般的なクレジットの取引は、二酸化炭素を削減した側(創出者)と削減分の権利を購入したい側(活用者)による相対取引のため、クレジット購入先が明示されます。
- ・ 中部地域のクレジットを購入した(環境に配慮した取組を行っている)ことが明確にできるような証(マークなど)が欲しい。
※これまでは中部地域で生まれたクレジットを表す「ブランド」や「マーク」などはありませんでした。

これらの制度利用者の方からの声にお応えし、中部経済産業局が主体となって、中部地域のクレジットを取りまとめ、流通させるための仕組みを構築するとともに、「中部産CO₂クレジット」のロゴマークを作成しました。

本件は、11月5日(水)~8日(土)に開催される「メッセナゴヤ2014」にブース出展を行い、詳細をご紹介します。